

働くって？

「働き方改革」や「テレワーク」。最近、働くことに関わるニュースや話題をよく見聞きしますね。人工知能（AI）の発達で、将来なくなってしまう仕事もあるとか。今月23日は働くことを喜び合う祝日「勤労感謝の日」です。そもそも私たちは何のために働くのでしょうか。この機会に考えてみませんか。（佐橋大）

働くこと＝勤労は、憲法に定められた国民の三大義務の一つ。誰でも仕事を自由に選べる権利も保障されている。ただ、働けるのは原則、中学校を卒業してから。十八歳になるまでは一日に八時間、週に四十時間までしか働けず、午後十時～午前五時の深夜帯の仕事はできない。

化学メーカーのクラレ（東京）が今春、小学校を卒業した子ども約千人に聞いた調査では、将来就きたい職業の一位は男子が「スポーツ選手」、女子が「保育士」だった。同社の担当者注目したのは「医師」。男子で過去最高の二位、女子でも昨年の九位から四位に上がり、「医療で人の役に

◆ 就きたい職業変化

◆ 人が担う仕事減る

AI時代対応する力を

に立ちたいと考える子どもが増えたのでは」と分析する。男子の十六位には「ユーチューバー」が入るなど、社会の変化も反映しているようだ。

少子高齢化が進む中、年を取っても働く人も増えている。十五歳以上で仕事や働く意思を持っている人の数「労働力人口」に占める六十五歳以上の割合は一割以上に。働く期間が長くなると、これまでのように一つの会社で働き続けるのではなく、別の会社に移ったり、新しい仕事に挑戦したりする人も増えると予想されている。

「医師」過去最高の2位

小学6年生の就きたい職業

男子	女子
1 スポーツ選手	保育士
2 医師	看護師
3 大工・職人	パティシエ・パン屋
4 研究者	医師
5 エンジニア	薬剤師

2020年1～3月、クラレ調べ

くのは生活するためだけではない。人は、人に喜ばれる、人に認められるとうれしくなる。誰かの役に立って、喜ばれる。それが仕事ではないか」と指摘。「働き始めてからも、やってみたいことをやってみたり、常に学んだりする姿勢が今まで以上に求められてい

る」と話す。

野村総合研究所（同）などは二〇二五年、現在の労働力人口のほぼ半数が就いている職業が、今後数十年のうちにAIやロボットに取って代わられる可能性があるとの報告をまとめた。電車の運転士、スパーのレジ係、新聞配達員など、常に同じような動きをする作業はAIなどが行うようになり、人が担う仕事は減っていくという。

新型コロナウイルスの影響で多くの飲食店や小売店などが休業し、働きたくても働けない人も増えた。池上さんは「僕が学生の頃、デジタルなどの巨大IT（情報技術）企業は想像もできなかった」と振り返り、「新しい仕事はきつと出てくる」と強調する。「AIは今あるデータを基に考え、今存在しないものを予測することはできない」と指摘。若者たちに向けて「新しい仕事をつくって

くのは、君たちだ。新しいことに対応する力、さまざまな知識を結び付けて運用していく力を学生時代に身に付けて」と呼び掛ける。

新聞）生活部「学ぶ」
 係＝ファクス052（222）
 5284、メール＝seikat@chunichi.co.jp
 キョーアル
 ＝へ。QRコードからワークシート兼応募用紙もダウンロードできます。20日締め切り。



皆さんの意見を送ってください

お父さんやお母さんが働いている姿を見てどう思いますか。自分はどうな仕事をしたいですか。皆さんの意見を送ってください。紙面で紹介したお子さんの中から抽選で図書カードをプレゼント。応募は〒460 8511 中日新聞（東京